

## 4. 横 断 管 渠



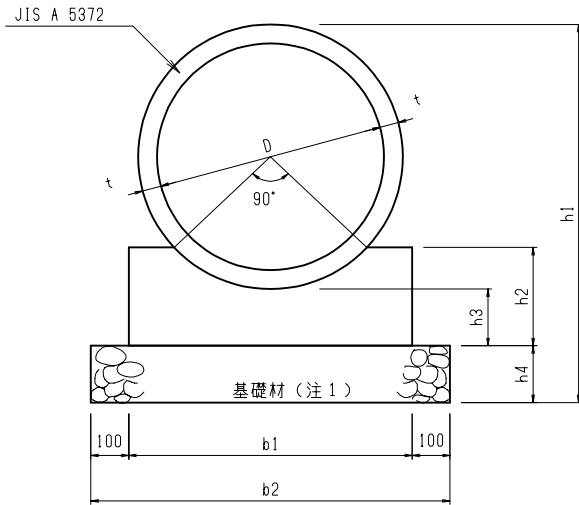




共通	図面記号	管 - ( 90° )
	名称	管渠 - 鉄筋コンクリート管 ( 1種 )

設計基準強度 基礎コンクリート  $\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$

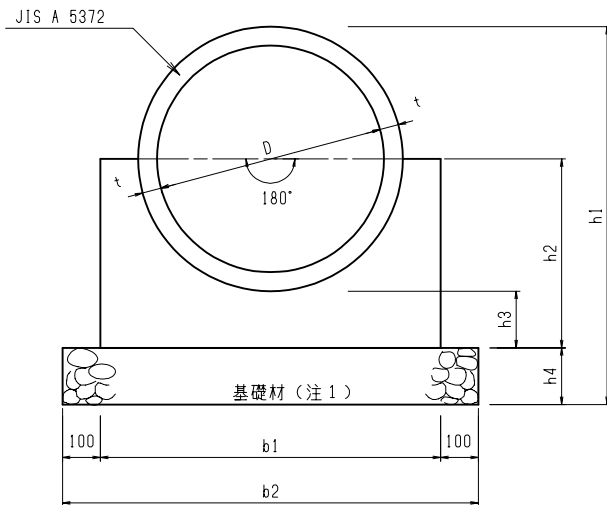
P1-RC1型



P1-RC1型 (管渠 : 90° 固定基礎 : 鉄筋コンクリート管) 寸法および材料表

記号	寸法表 (単位 mm)								材料表 (10m当たり)				摘要
	D	t	b1	b2	h1	h2	h3	h4	コンクリート (m³)	基礎材 (m³)	型枠 (m²)	管本数 (本)	
P1-RC1-D300	300	33	500	700	616	160	100	150	0.687	1.050	3.200	10.0	鉄筋コンクリート管 1種使用
P1-RC1-D350	350	37	550	750	674	170	100	150	0.782	1.125	3.400	10.0	
P1-RC1-D400	400	41	550	750	782	220	150	150	1.046	1.125	4.400	10.0	
P1-RC1-D450	450	45	600	800	840	230	150	150	1.168	1.200	4.600	10.0	
P1-RC1-D500	500	50	650	850	900	240	150	150	1.294	1.275	4.800	10.0	
P1-RC1-D600	600	62	750	950	1024	260	150	150	1.556	1.425	5.200	10.0	

P2-RC1型



P2-RC1型 (管渠 : 180° 固定基礎 : 鉄筋コンクリート管) 寸法および材料表

記号	寸法表 (単位 mm)								材料表 (10m当たり)				摘要
	D	t	b1	b2	h1	h2	h3	h4	コンクリート (m³)	基礎材 (m³)	型枠 (m²)	管本数 (本)	
P2-RC1-D300	300	33	600	800	616	290	100	150	1.188	1.200	5.800	10.0	鉄筋コンクリート管 1種使用
P2-RC1-D350	350	37	650	850	674	320	100	150	1.340	1.275	6.400	10.0	
P2-RC1-D400	400	41	700	900	782	400	150	150	1.844	1.350	8.000	10.0	
P2-RC1-D450	450	45	750	950	840	420	150	150	2.005	1.425	8.400	10.0	
P2-RC1-D500	500	50	800	1000	900	450	150	150	2.186	1.500	9.000	10.0	
P2-RC1-D600	600	62	900	1100	1024	520	150	150	2.564	1.650	10.400	10.0	

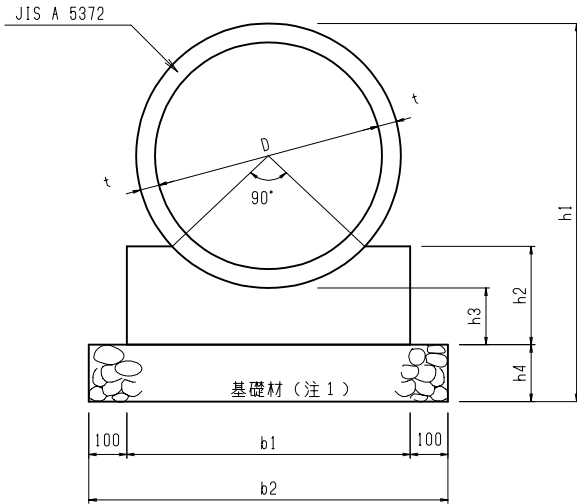
注意事項

1. 基礎材の使用材料を該当する箇所に明記すること。  
基礎材に粗粒材を用いる場合、最大粒径は80mm級以下とする。
2. 管渠断面を決定する場合は断面に余裕を見込むこと。
3. 型枠面積は、基礎コンクリートの両側のみ計上した。
4. コンクリート管本数は、JIS A 5372 を対象とした。
5. 継手形形式は別途考慮すること。
6. 呑口、吐口部の構造を十分検討すること。

共通	図面記号	管 - ( 90° )
	名称	管 - ( 180° )
		管渠 = 鉄筋コンクリート管 ( 2種 )

設計基準強度 基礎コンクリート  $\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$

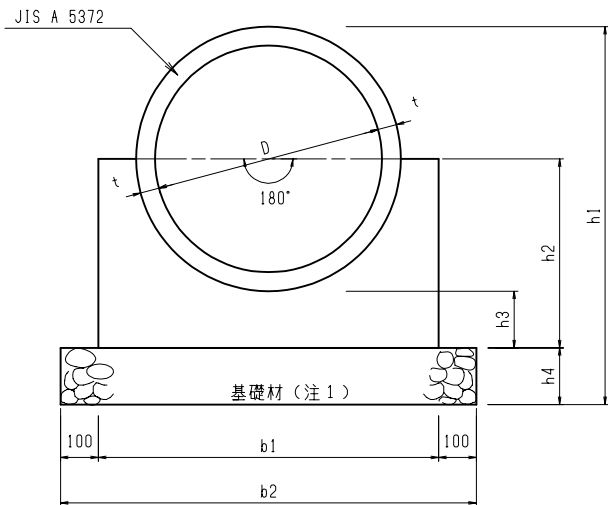
P1-RC2型



P1-RC2型 (管渠: 90°固定基礎: 鉄筋コンクリート管) 寸法および材料表

記号	寸法表 (単位 mm)								材料表 (10m当たり)				摘要
	D	t	b1	b2	h1	h2	h3	h4	コンクリート (m³)	基礎材 (m³)	型枠 (m²)	管本数 (本)	
P1-RC2-D300	300	50	500	700	650	160	100	150	0.682	1.050	3.200	5.0	鉄筋コンクリート管 2種使用
P1-RC2-D350	350	53	550	750	706	170	100	150	0.776	1.125	3.400	5.0	
P1-RC2-D400	400	58	550	750	816	230	150	150	1.059	1.125	4.600	5.0	
P1-RC2-D450	450	63	600	800	876	240	150	150	1.180	1.200	4.800	5.0	
P1-RC2-D500	500	69	650	850	938	250	150	150	1.305	1.275	5.000	5.0	
P1-RC2-D600	600	76	750	950	1052	270	150	150	1.568	1.425	5.400	5.0	

P2-RC2型



P2-RC2型 (管渠: 180°固定基礎: 鉄筋コンクリート管) 寸法および材料表

記号	寸法表 (単位 mm)								材料表 (10m当たり)				摘要
	D	t	b1	b2	h1	h2	h3	h4	コンクリート (m³)	基礎材 (m³)	型枠 (m²)	管本数 (本)	
P2-RC2-D300	300	50	600	800	650	300	100	150	1.172	1.200	6.000	5.0	鉄筋コンクリート管 2種使用
P2-RC2-D350	350	53	650	850	706	330	100	150	1.319	1.275	6.600	5.0	
P2-RC2-D400	400	58	700	900	816	410	150	150	1.814	1.350	8.200	5.0	
P2-RC2-D450	450	63	750	950	876	440	150	150	1.986	1.425	8.800	5.0	
P2-RC2-D500	500	69	800	1000	938	470	150	150	2.155	1.500	9.400	5.0	
P2-RC2-D600	600	76	900	1100	1052	530	150	150	2.519	1.650	10.600	5.0	

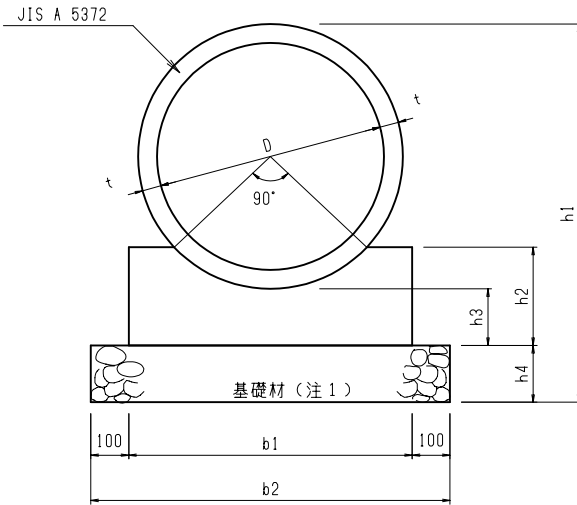
注意事項

1. 基礎材の使用材料を該当する箇所に明記すること。  
基礎材に粗粒材を用いる場合、最大粒径は80mm級以下とする。
2. 管渠断面を決定する場合は断面に余裕を見込むこと。
3. 型枠面積は、基礎コンクリートの両側のみ計上した。
4. コンクリート管本数は、JIS A 5372 を対象とした。
5. 継手形形式は別途考慮すること。
6. 呑口、吐口部の構造を十分検討すること。

共通	図面記号	管 - ( 90° )
	名称	管渠 - 遠心力鉄筋コンクリート管 管渠 - コア式プレストレストコンクリート管

設計基準強度 基礎コンクリート  $\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$

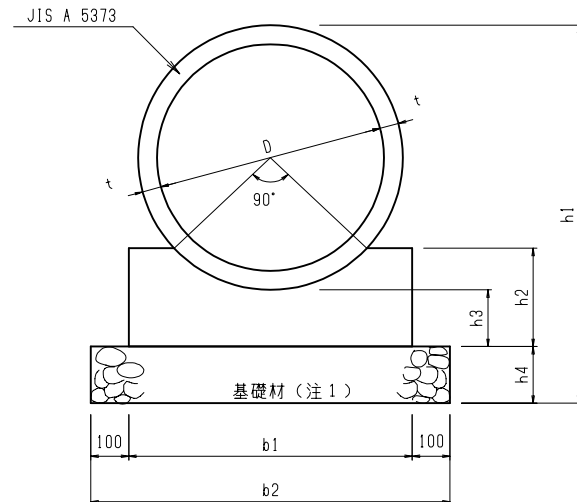
P1-HP型



P1-HP型 (管渠: 90°固定基礎: 遠心力鉄筋コンクリート管) 寸法および材料表

記号	寸法表 (単位 mm)								材料表 (10m当たり)				摘要
	D	t	b1	b2	h1	h2	h3	h4	コンクリート (m³)	基礎材 (m³)	型枠 (m²)	管本数 (本)	
P1-HP-0200	200	27	400	600	504	140	100	150	0,509	0,900	2,800	5,0	JIS A5372 遠心力鉄筋 コンクリート管使用
P1-HP-0250	250	28	450	650	556	150	100	150	0,597	0,975	3,000	5,0	
P1-HP-0300	300	30	500	700	610	160	100	150	0,688	1,050	3,200	5,0	
P1-HP-0350	350	32	550	750	664	170	100	150	0,784	1,125	3,400	5,0	
P1-HP-0400	400	35	550	750	770	220	150	150	1,048	1,125	4,400	4,1	
P1-HP-0450	450	38	600	800	826	230	150	150	1,171	1,200	4,600	4,1	
P1-HP-0500	500	42	650	850	884	240	150	150	1,298	1,275	4,800	4,1	
P1-HP-0600	600	50	750	950	1000	260	150	150	1,563	1,425	5,200	4,1	
P1-HP-0700	700	58	850	1050	1166	320	200	150	2,242	1,575	6,400	4,1	
P1-HP-0800	800	66	950	1150	1282	340	200	150	2,587	1,725	6,800	4,1	
P1-HP-0900	900	75	1050	1250	1400	360	200	150	2,947	1,875	7,200	4,1	
P1-HP-1000	1000	82	1200	1400	1564	380	200	200	3,514	2,800	7,600	4,1	
P1-HP-1100	1100	88	1300	1500	1726	440	250	200	4,530	3,000	8,800	4,1	
P1-HP-1200	1200	95	1400	1600	1840	460	250	200	4,998	3,200	9,200	4,1	
P1-HP-1350	1350	103	1600	1800	2006	480	250	200	5,929	3,600	9,600	4,1	
P1-HP-1500	1500	140	1800	2000	2230	520	250	200	6,981	4,000	10,400	4,3	
P1-HP-1650	1650	150	2000	2200	2450	590	300	200	9,026	4,400	11,800	4,3	
P1-HP-1800	1800	160	2150	2350	2620	620	300	200	9,979	4,700	12,400	4,3	
P1-HP-2000	2000	175	2400	2600	2850	650	300	200	11,562	5,200	13,000	4,3	

P1-PC型



P1-PC型 (管渠: 90°固定基礎: コア式プレストレストコンクリート管) 寸法および材料表

記号	寸法表 (単位 mm)								材料表 (10m当たり)				摘要
	D	t	b1	b2	h1	h2	h3	h4	コンクリート (m³)	基礎材 (m³)	型枠 (m²)	管本数 (本)	
P1-PC-0500	500	65	650	850	930	250	150	150	1,307	1,275	5,000	2,5	JIS A5373 コア式プレストレスト コンクリート管 (型) 使用
P1-PC-0600	600	69	750	950	1038	260	150	150	1,551	1,425	5,200	2,5	
P1-PC-0700	700	71	850	1050	1192	330	200	150	2,259	1,575	6,600	2,5	
P1-PC-0800	800	75	950	1150	1300	340	200	150	2,580	1,725	6,800	2,5	
P1-PC-0900	900	80	1050	1250	1410	360	200	150	2,942	1,875	7,200	2,5	
P1-PC-1000	1000	85	1200	1400	1570	380	200	200	3,511	2,800	7,600	2,5	
P1-PC-1100	1100	90	1300	1500	1730	440	250	200	4,528	3,000	8,800	2,5	
P1-PC-1200	1200	95	1400	1600	1840	460	250	200	4,998	3,200	9,200	2,5	
P1-PC-1350	1350	100	1600	1800	2000	480	250	200	5,933	3,600	9,600	2,5	
P1-PC-1500	1500	110	1750	1950	2170	510	250	200	6,715	3,900	10,200	2,5	
P1-PC-1650	1650	120	1900	2100	2390	580	300	200	8,428	4,200	11,600	2,5	
P1-PC-1800	1800	125	2100	2300	2550	610	300	200	9,669	4,600	12,200	2,5	
P1-PC-2000	2000	135	2300	2500	2770	640	300	200	10,921	5,000	12,800	2,5	

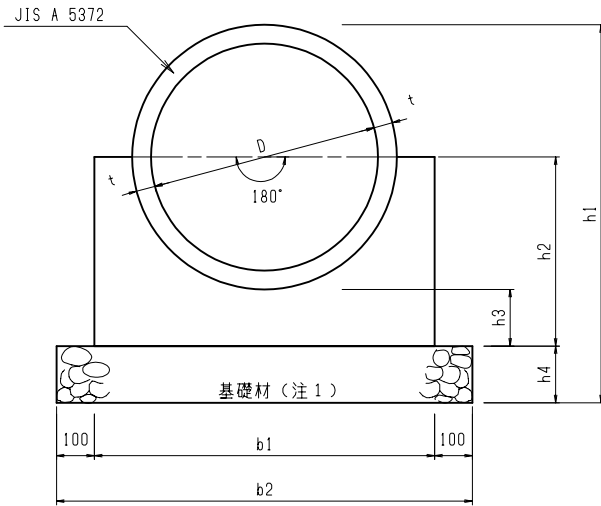
注意事項

1. 基礎材の使用材料を該当する箇所に明記すること。  
基礎材に粗粒材を用いる場合、最大粒径は80mm級以下とする。
2. 管渠断面を決定する場合は断面に余裕を見込むこと。
3. 型枠面積は、基礎コンクリートの両側のみ計上した。
4. コンクリート管本数は、JIS A 5372 B, NC形を対象とした。
5. 継手形形式は別途考慮すること。
6. 呑口、吐口部の構造を十分検討すること。

共通	図面記号	管 - ( 180° )
	名称	管渠 - 遠心力鉄筋コンクリート管 管渠 - コア式プレストレストコンクリート管

設計基準強度 基礎コンクリート  $\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$

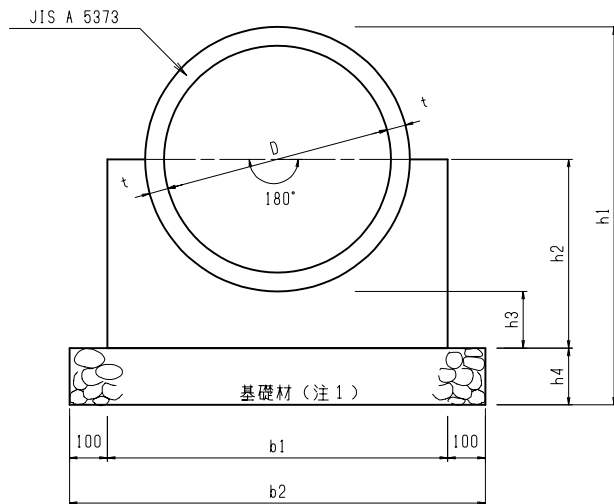
P2-HP型



P2-HP型 (管渠: 180°固定基礎: 遠心力鉄筋コンクリート管) 寸法および材料表

記号	寸法表 (単位 mm)								材料表 (10m当たり)				摘要
	D	t	b1	b2	h1	h2	h3	h4	コンクリート (m³)	基礎材 (m³)	型枠 (m²)	管本数 (本)	
P2-HP-0200	200	27	500	700	504	230	100	150	0,889	1,050	4,600	5,0	JIS A5372 遠心力鉄筋 コンクリート管使用
P2-HP-0250	250	28	550	750	556	260	100	150	1,041	1,125	5,200	5,0	
P2-HP-0300	300	30	600	800	610	280	100	150	1,171	1,200	5,600	5,0	
P2-HP-0350	350	32	650	850	664	310	100	150	1,330	1,275	6,200	5,0	
P2-HP-0400	400	35	700	900	770	390	150	150	1,839	1,350	7,800	4,1	
P2-HP-0450	450	38	750	950	826	420	150	150	2,027	1,425	8,400	4,1	
P2-HP-0500	500	42	800	1000	884	450	150	150	2,214	1,500	9,000	4,1	
P2-HP-0600	600	50	900	1100	1000	500	150	150	2,576	1,650	10,000	4,1	
P2-HP-0700	700	58	1050	1250	1166	610	200	150	3,774	1,875	12,200	4,1	
P2-HP-0800	800	66	1200	1400	1282	670	200	150	4,592	2,100	13,400	4,1	
P2-HP-0900	900	75	1350	1550	1400	730	200	150	5,473	2,325	14,600	4,1	
P2-HP-1000	1000	82	1450	1650	1564	790	200	200	6,041	3,300	15,800	4,1	
P2-HP-1100	1100	88	1600	1800	1726	890	250	200	7,821	3,600	17,800	4,1	
P2-HP-1200	1200	95	1750	1950	1840	950	250	200	8,968	3,900	19,000	4,1	
P2-HP-1350	1350	103	1900	2100	2006	1030	250	200	10,031	4,200	20,600	4,1	
P2-HP-1500	1500	140	2150	2350	2230	1140	250	200	12,068	4,700	22,800	4,3	
P2-HP-1650	1650	150	2400	2600	2450	1280	300	200	15,690	5,200	25,600	4,3	
P2-HP-1800	1800	160	2550	2750	2620	1360	300	200	17,031	5,500	27,200	4,3	
P2-HP-2000	2000	175	2850	3050	2850	1480	300	200	20,376	6,100	29,600	4,3	

P2-PC型



P2-PC型 (管渠: 180°固定基礎: コア式プレストレストコンクリート管) 寸法および材料表

記号	寸法表 (単位 mm)								材料表 (10m当たり)				摘要
	D	t	b1	b2	h1	h2	h3	h4	コンクリート (m³)	基礎材 (m³)	型枠 (m²)	管本数 (本)	
P2-PC-0500	500	65	850	1050	930	470	150	150	2,405	1,575	9,400	2,5	JIS A5373 コア式プレストレスト コンクリート管 (II型) 使用
P2-PC-0600	600	69	950	1150	1038	520	150	150	2,794	1,725	10,400	2,5	
P2-PC-0700	700	71	1050	1250	1192	630	200	150	3,755	1,875	12,600	2,5	
P2-PC-0800	800	75	1200	1400	1300	680	200	150	4,568	2,100	13,600	2,5	
P2-PC-0900	900	80	1350	1550	1410	730	200	150	5,443	2,325	14,600	2,5	
P2-PC-1000	1000	85	1450	1650	1570	790	200	200	6,021	3,300	15,800	2,5	
P2-PC-1100	1100	90	1600	1800	1730	890	250	200	7,806	3,600	17,800	2,5	
P2-PC-1200	1200	95	1750	1950	1840	950	250	200	8,968	3,900	19,000	2,5	
P2-PC-1350	1350	100	1900	2100	2000	1030	250	200	10,058	4,200	20,600	2,5	
P2-PC-1500	1500	110	2100	2300	2170	1110	250	200	11,692	4,600	22,200	2,5	
P2-PC-1650	1650	120	2350	2550	2390	1250	300	200	15,253	5,100	25,000	2,5	
P2-PC-1800	1800	125	2500	2700	2550	1330	300	200	16,644	5,400	26,600	2,5	
P2-PC-2000	2000	135	2800	3000	2770	1440	300	200	19,971	6,000	28,800	2,5	

注意事項

1. 基礎材の使用材料を該当する箇所に明記すること。  
基礎材に粗粒材を用いる場合、最大粒径は80mm級以下とする。
2. 管渠断面を決定する場合は断面に余裕を見込むこと。
3. 型枠面積は、基礎コンクリートの両側のみ計上した。
4. コンクリート管本数は、JIS A 5372 B, NC形を対象とした。
5. 継手形形式は別途考慮すること。
6. 呑口、吐口部の構造を十分検討すること。



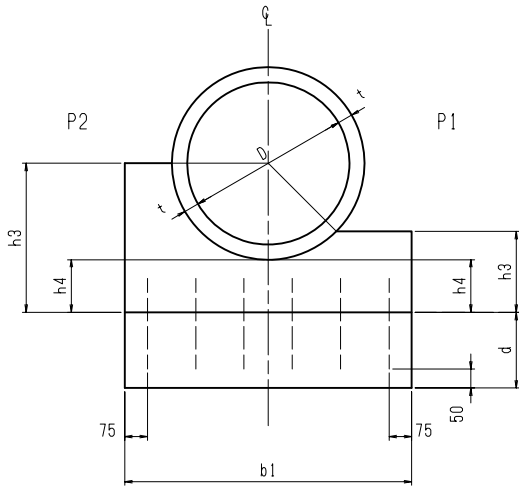
共通	図面記号	管 - ( 90° ~ 360° )	H19
	名称	管(函) - 管(函) 渠すべり止め - その1	

単位 : m/m

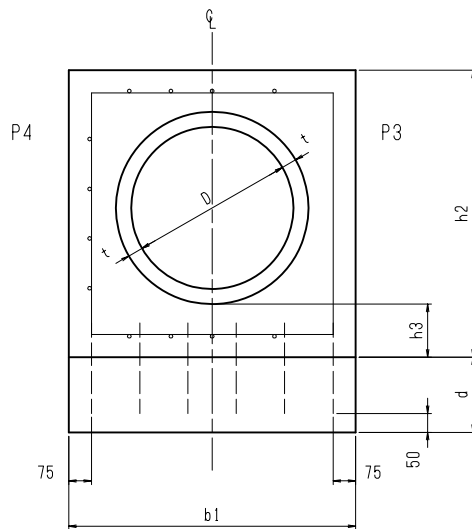
設計基準強度 基礎コンクリート  $\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$

P1型 ( 90° ) 固定基礎

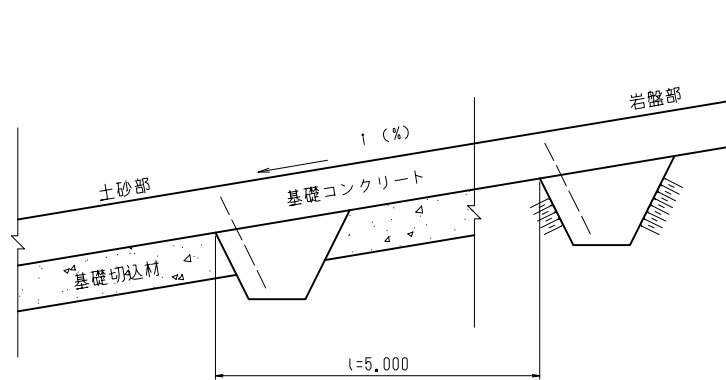
P2型 ( 180° ) 固定基礎



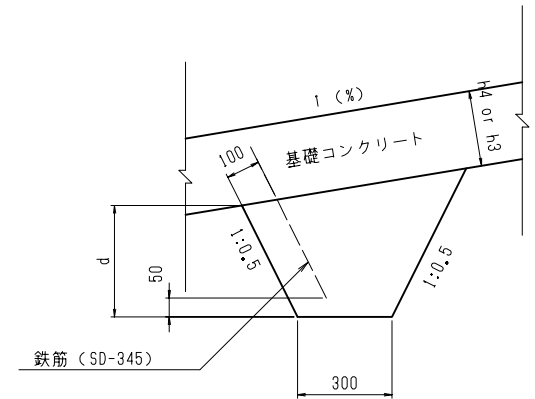
P3, 4型 ( 360° ) 固定基礎



すべり止め ( Key ) 間隔



断面図



すべり止め ( Key ) 深さ ( d ) 寸法表 m/m

基礎地盤の種類	勾配 (1) (φ) 土の内部摩擦角	深さ (d)		
		10% 以上 ~ 30% 以下	30% 超 ~ 40% 以下	40% 超 ~ 50% 以下
粘性土地盤の 堅いもの, 中位のもの	20° ~ 25°	900	1000	1100
砂質地盤の中位なもの, 粘性土地盤の非常に堅いもの	~ 30° 以下	700	900	1000
礫層の密及密でないもの, 砂質地盤の密なもの	~ 40° 以下	-	800	900
岩 盤		-	400	500

注意事項

- すべり止め深さ ( d ) は勾配の下側の深さとする。
- 適用範囲は標準図集の収録範囲内とする。
- 函渠工については、別途検討すること。

設計基準強度 Keyコンクリート  $\sigma_{ck}=18 \text{ N/mm}^2$

共通	図面記号	管 - ( 90° ~ 360° )
	名称	管 ( 函 ) - 管 ( 函 ) 渠すべり止め - その 2

コンクリート 材 料 表

地盤の種類 勾配 管径 型式	粘性土地盤の堅いもの、中位のもの (20°~25°)												砂質地盤の中位なもの、粘性土地盤の非常に堅いもの (~30°以下)											
	10% 以上 ~ 30% 以下 A = 0.8350				30% 超 ~ 40% 以下 A = 1.1585				40% 超 ~ 50% 以下 A = 1.5040				10% 超 ~ 30% 以下 A = 0.5661				30% 超 ~ 40% 以下 A = 0.9805				40% 超 ~ 50% 以下 A = 1.2906			
	P1	P2	P3	P4	P1	P2	P3	P4	P1	P2	P3	P4	P1	P2	P3	P4	P1	P2	P3	P4	P1	P2	P3	P4
D 450	0.501	0.626	0.701	-	0.695	0.869	0.973	-	0.902	1.128	1.263	-	0.340	0.425	0.476	-	0.588	0.735	0.824	-	0.774	0.968	1.084	-
D 600	0.626	0.752	-	0.835	0.869	1.043	-	1.159	1.128	1.354	-	1.504	0.425	0.509	-	0.566	0.735	0.882	-	0.981	0.968	1.162	-	1.291
D 900	0.877	1.127	-	1.303	1.216	1.564	-	1.807	1.579	2.030	-	2.346	0.594	0.764	-	0.883	1.030	1.324	-	1.530	1.355	1.742	-	2.013
D 1000	1.002	1.211	-	1.486	1.390	1.680	-	2.062	1.805	2.181	-	2.677	0.679	0.821	-	1.008	1.177	1.422	-	1.745	1.549	1.871	-	2.297
D 1200	1.169	1.461	-	-	1.622	2.027	-	-	2.106	2.632	-	-	0.793	0.991	-	-	1.373	1.716	-	-	1.807	2.259	-	-
D 1500	1.503	1.795	-	-	2.085	2.491	-	-	2.707	3.234	-	-	1.019	1.217	-	-	1.765	2.108	-	-	2.323	2.775	-	-
d(Keyの深さ)mm	900				1000				1100				700				900				1000			

地盤の種類 勾配 管径 型式	礫層の密なもの、密でないもの、砂質地盤の密なもの (~40°以下)								岩 盤							
	30% 超 ~ 40% 以下 A = 0.8167				40% 超 ~ 50% 以下 A = 1.0931				30% 超 ~ 40% 以下 A = 0.3039				40% 超 ~ 50% 以下 A = 0.4608			
	P1	P2	P3	P4	P1	P2	P3	P4	P1	P2	P3	P4	P1	P2	P3	P4
D 450	0.490	0.613	0.686	-	0.656	0.820	0.918	-	0.182	0.228	0.255	-	0.276	0.346	0.387	-
D 600	0.613	0.735	-	0.817	0.820	0.984	-	1.093	0.228	0.274	-	0.304	0.346	0.415	-	0.461
D 900	0.858	1.103	-	1.274	1.148	1.476	-	1.705	0.319	0.410	-	0.474	0.484	0.622	-	0.719
D 1000	0.980	1.184	-	1.454	1.312	1.585	-	1.946	0.365	0.441	-	0.541	0.553	0.668	-	0.820
D 1200	1.143	1.429	-	-	1.530	1.913	-	-	0.425	0.532	-	-	0.645	0.806	-	-
D 1500	1.470	1.756	-	-	1.968	2.350	-	-	0.547	0.653	-	-	0.829	0.991	-	-
d(Keyの深さ)mm	800				900				400				500			

注意事項

1. 表示管径以外のものについては A x b 1 によりコンクリートの数量を算出すること。

共 通	図面記号	管 - ( 90° ~ 360° )	H19
	名 称	管(函) - 管(函) 渠すべり止め - その3	

鉄 筋 材 料 表 ( 算 出 基 礎 表 )

管 径 (m/m)	基礎地盤の種類		粘性土地盤の堅いもの、 中位のもの (20° ~ 25°)			砂質地盤の中位なもの、 粘性土地盤の非常に堅いもの (30°)			礫層の密及密でないもの 砂質地盤の密なもの (40°)		岩 盤	
	鉄筋	勾配	10% 以上 ~ 30% 未満	30% 超 ~ 40% 未満	40% 超 ~ 50% 未満	10% 以上 ~ 30% 未満	30% 超 ~ 40% 未満	40% 超 ~ 50% 未満	30% 超 ~ 40% 未満	40% 超 ~ 50% 未満	30% 超 ~ 40% 未満	40% 超 ~ 50% 未満
D450 ~ D600	径		D16	D16	D16	D16	D16	D16	D16	D16	D16	D16
	1本当り長さ m/m		1,000	1,150	1,250	800	1,000	1,100	900	1,000	500	600
	単 位 質 量 kg/m		1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56
	本 数		b1 ÷ 15cm	b1 ÷ 15cm	b1 ÷ 15cm	b1 ÷ 15cm	b1 ÷ 15cm	b1 ÷ 15cm	b1 ÷ 15cm	b1 ÷ 15cm	b1 ÷ 15cm	b1 ÷ 15cm
	質 量 kg											
D700 ~ D1,000	径		D16	D16	D16	D16	D16	D16	D16	D16	D16	D16
	1本当り長さ m/m		1,050	1,200	1,300	850	1,050	1,150	950	1,050	550	600
	単 位 質 量 kg/m		1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56
	本 数		b1 ÷ 15cm	b1 ÷ 15cm	b1 ÷ 15cm	b1 ÷ 15cm	b1 ÷ 15cm	b1 ÷ 15cm	b1 ÷ 15cm	b1 ÷ 15cm	b1 ÷ 15cm	b1 ÷ 15cm
	質 量 kg											
D1,100 ~ D1,500	径		D16	D16	D16	D16	D16	D16	D16	D16	D16	D16
	1本当り長さ m/m		1,100	1,250	1,350	900	1,100	1,200	1,000	1,100	600	650
	単 位 質 量 kg/m		1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56	1.56
	本 数		b1 ÷ 15cm	b1 ÷ 15cm	b1 ÷ 15cm	b1 ÷ 15cm	b1 ÷ 15cm	b1 ÷ 15cm	b1 ÷ 15cm	b1 ÷ 15cm	b1 ÷ 15cm	b1 ÷ 15cm
	質 量 kg											

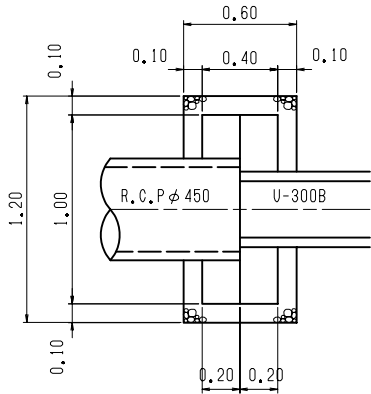
注意事項

- 鉄筋の種類 SD345
- 鉄筋本数は b1 ÷ (鉄筋間隔) で端数切上げとし1本加算すること。

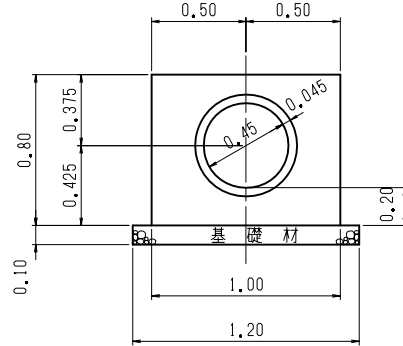
共通	図面記号	管-接続壁	H11
	名称	管渠-横断管渠接続壁(タイプA, B)	

接続壁Aタイプ

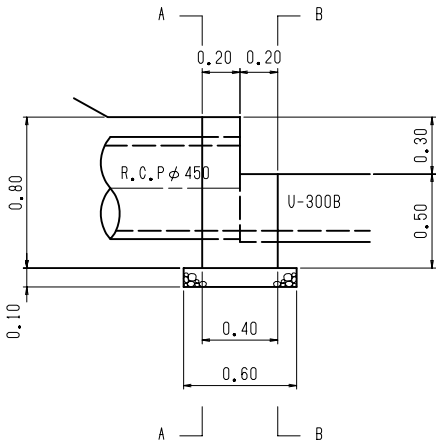
平面図



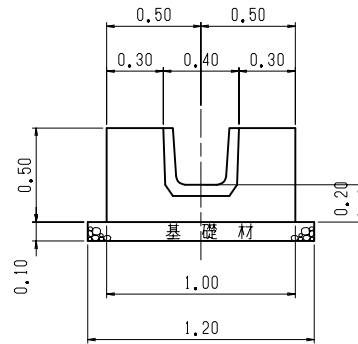
断面図  
(A-A)



側面図

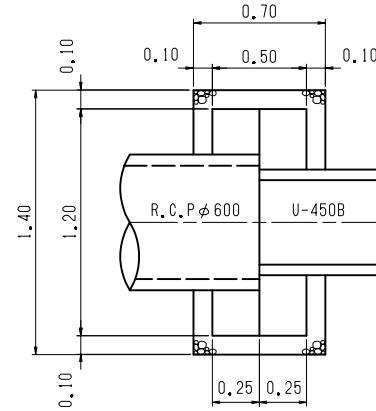


断面図  
(B-B)

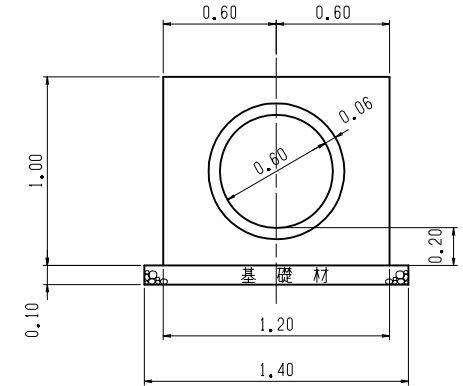


接続壁Bタイプ

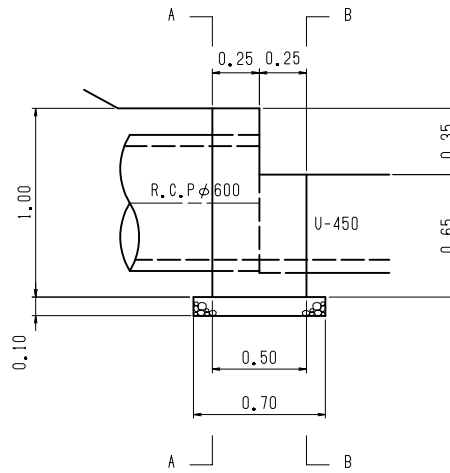
平面図



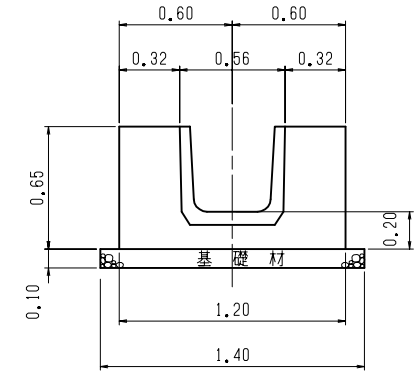
断面図  
(A-A)



側面図



断面図  
(B-B)



	質量 (kg)	基礎材
A-TYPE	427	0.072 m <sup>3</sup>
B-TYPE	737	0.098 m <sup>3</sup>

共 通	図面記号	管 - 土留壁
	名 称	管渠 - 横断管渠土留壁 (タイプA, B)

土留壁Aタイプ

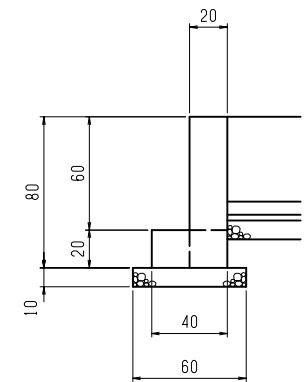
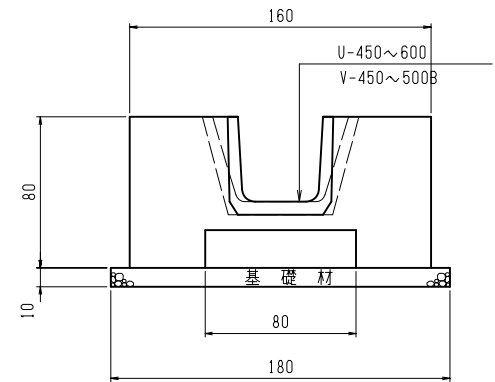
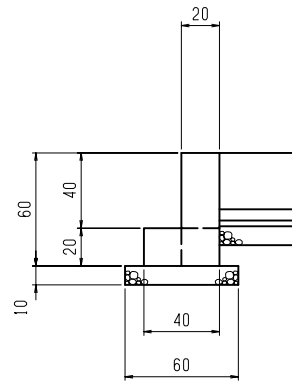
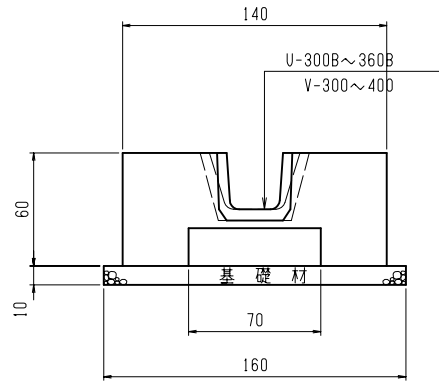
土留壁Bタイプ

正面図

側面図

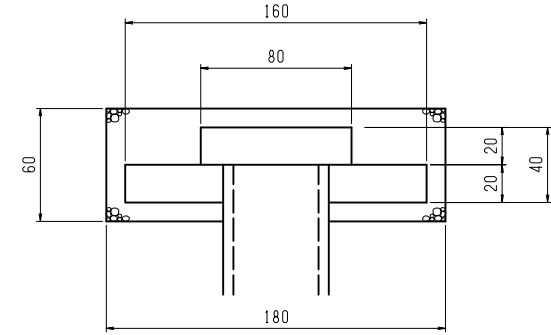
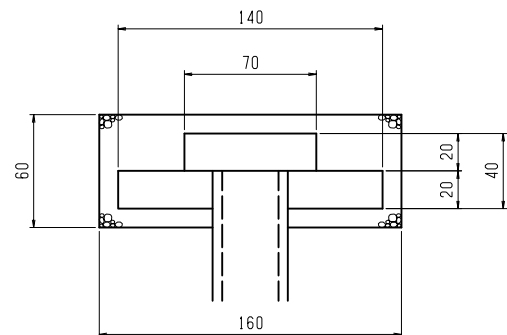
正面図

側面図



平面図

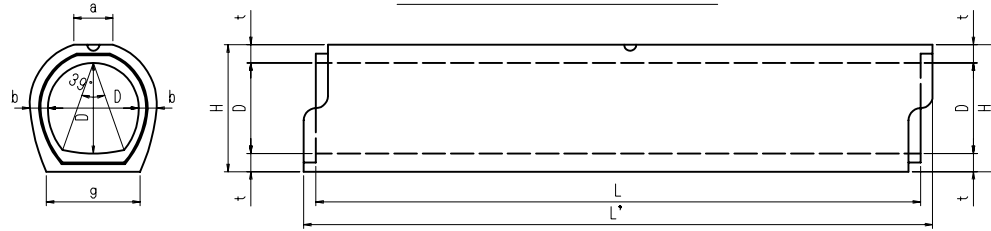
平面図



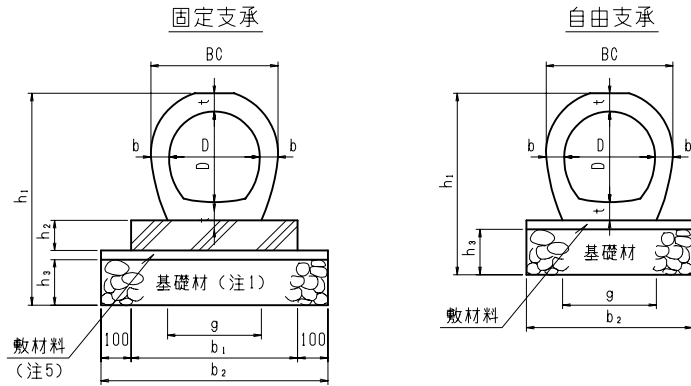
	質量 (kg)	基礎材
A - TYPE	365	0.096 m <sup>3</sup>
B - TYPE	433	0.108 m <sup>3</sup>

共通	図面記号	管渠 - 鉄筋コンクリート高圧管
	名称	

鉄筋コンクリート高圧管標準図



基礎形式標準図



管寸法表

記号	D	BC	b	t	a	g	H	L	L'	標準質量 (Kg)	本体断面積 (m <sup>2</sup> )
RCT-D 250	250	370	60	60	120	280	370	2,000	2,080	308	0.117
RCT-D 300	300	420	60	60	130	310	420	2,000	2,080	357	0.149
RCT-D 350	350	470	60	65	140	340	480	2,000	2,080	425	0.190
RCT-D 400	400	520	60	70	150	380	540	2,000	2,100	503	0.237
RCT-D 450	450	578	64	75	160	420	600	2,000	2,100	596	0.291
RCT-D 500	500	630	65	80	180	460	660	2,000	2,110	689	0.349
RCT-D 600	600	730	65	85	200	500	770	2,000	2,120	825	0.467
RCT-D 700	700	850	75	105	250	590	910	2,000	2,120	1163	0.644
RCT-D 800	800	970	85	115	300	670	1,030	2,000	2,130	1482	0.833
RCT-D 900	900	1,090	95	135	350	750	1,170	2,000	2,130	1917	1.064
RCT-D 1000	1,000	1,210	105	155	400	840	1,310	2,000	2,140	2419	1.324
RCT-D 1100	1,100	1,330	115	165	450	920	1,430	2,000	2,140	2870	1.590
RCT-D 1200	1,200	1,450	125	175	500	1,000	1,550	2,000	2,150	3360	1.881
RCT-D 1350	1,350	1,620	135	205	550	1,130	1,760	2,000	2,150	4277	2.386
RCT-D 1500	1,500	1,810	155	225	600	1,250	1,950	2,000	2,160	5294	2.948
RCT-D 1650	1,650	1,980	165	245	650	1,380	2,140	2,000	2,160	6286	3.642
RCT-D 1800	1,800	2,170	185	275	700	1,500	2,350	2,000	2,160	7664	4.254
RCT-D 2000	2,000	2,390	195	285	780	1,630	2,570	2,000	2,180	8844	5.119

基礎寸法および材料表

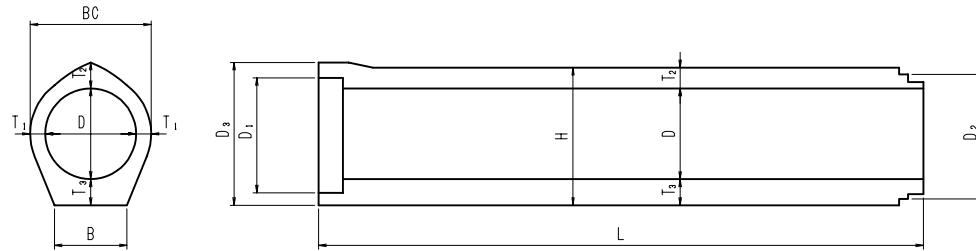
記号	D	固定支承										自由支承										
		場所打ちコンクリートベース (設計基準強度 基礎コンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ )					プレキャストコンクリートベース					寸法表 (単位 mm)			材料表 (10m当たり)							
		寸法表 (単位 mm)					材料表 (10m当たり)					寸法表 (単位 mm)			材料表 (10m当たり)							
b <sub>1</sub>	b <sub>2</sub>	h <sub>1</sub>	h <sub>2</sub>	h <sub>3</sub>	コンクリート m <sup>3</sup>	基礎材 m <sup>3</sup>	型枠 m <sup>2</sup>	コンクリート管本数	b <sub>1</sub>	b <sub>2</sub>	h <sub>1</sub>	h <sub>2</sub>	h <sub>3</sub>	基礎材 m <sup>3</sup>	コンクリート管本数	b <sub>2</sub>	h <sub>1</sub>	h <sub>3</sub>	基礎材 m <sup>3</sup>	コンクリート管本数		
RCT-D 250	250	400	600	620	100	150	0.40	0.90	2.00	5.0	380	580	650	100	150	0.87	5.0	500	600	200	1.00	5.0
RCT-D 300	300	450	650	670	100	150	0.45	0.98	2.00	5.0	410	610	700	100	150	0.92	5.0	550	650	200	1.10	5.0
RCT-D 350	350	450	650	730	100	150	0.45	0.98	2.00	5.0	440	640	760	100	150	0.96	5.0	550	710	200	1.10	5.0
RCT-D 400	400	500	700	840	150	150	0.75	1.05	3.00	5.0	480	680	820	100	150	1.02	5.0	600	770	200	1.20	5.0
RCT-D 450	450	550	750	950	150	200	0.83	1.50	3.00	5.0	520	720	880	100	150	1.08	5.0	650	830	200	1.30	5.0
RCT-D 500	500	600	800	1,010	150	200	0.90	1.60	3.00	5.0	560	760	940	100	150	1.14	5.0	700	890	200	1.40	5.0
RCT-D 600	600	600	800	1,120	150	200	0.90	1.60	3.00	5.0	600	800	1050	100	150	1.20	5.0	700	1,000	200	1.40	5.0
RCT-D 700	700	700	900	1,310	200	200	1.40	1.80	4.00	5.0	690	890	1,240	150	150	1.34	5.0	800	1,190	250	2.00	5.0
RCT-D 800	800	800	1,000	1,430	200	200	1.60	2.00	4.00	5.0	770	970	1,360	150	150	1.46	5.0	900	1,310	250	2.25	5.0
RCT-D 900	900	850	1,050	1,570	200	200	1.70	2.10	4.00	5.0	850	1,050	1,500	150	150	1.58	5.0	950	1,450	250	2.38	5.0
RCT-D 1000	1,000	950	1,150	1,710	200	200	1.90	2.30	4.00	5.0	940	1,140	1,690	150	200	2.28	5.0	1,050	1,590	250	2.63	5.0
RCT-D 1100	1,100	1,050	1,250	1,880	250	200	2.63	2.50	5.00	5.0	1,020	1,220	1,810	150	200	2.44	5.0	1,150	1,710	250	2.88	5.0
RCT-D 1200	1,200	1,100	1,300	2,000	250	200	2.75	2.60	5.00	5.0	1,100	1,300	1,930	150	200	2.60	5.0	1,200	1,830	250	3.00	5.0
RCT-D 1350	1,350	1,250	1,450	2,210	250	200	3.13	2.90	5.00	5.0							1,350	2,040	250	3.38	5.0	
RCT-D 1500	1,500	1,350	1,550	2,400	250	200	3.38	3.10	5.00	5.0							1,450	2,230	250	3.63	5.0	
RCT-D 1650	1,650	1,500	1,700	2,640	300	200	4.50	3.40	6.00	5.0							1,600	2,420	250	4.00	5.0	
RCT-D 1800	1,800	1,600	1,800	2,850	300	200	4.80	3.60	6.00	5.0							1,700	2,630	250	4.25	5.0	
RCT-D 2000	2,000	1,750	1,950	3,070	300	200	5.25	3.90	6.00	5.0							1,850	2,850	250	4.63	5.0	

注意事項

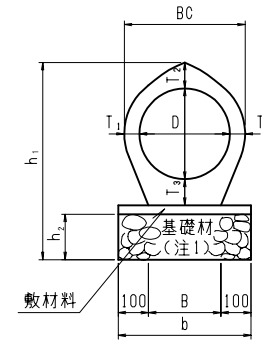
1. 基礎材の使用材料を該当する箇所に明記すること。基礎材に粗粒材を用いる場合、最大粒径は80mm級以下とする。
2. 管渠断面を決定する場合は断面に余裕を見込むこと。
3. 型枠面積は、基礎コンクリートの両側のみ計上した。
4. 継手形式は別途考慮すること。
5. 場所打ちコンクリートベースの場合は、敷材料を計上しない。

共 通	図面記号	管渠 - 鉄筋コンクリート台付管
	名 称	

鉄筋コンクリート台付管標準図



基礎形式標準図



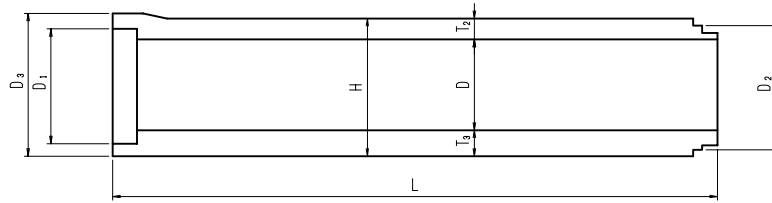
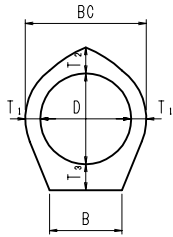
基礎寸法および材料表

記 号	管 寸 法 表 (mm)											標準質量 (kg)	基礎寸法表 (mm)			基礎材 m <sup>3</sup> (10m当たり)	本体断面積 (m <sup>2</sup> )
	BC	D	D <sub>1</sub>	D <sub>2</sub>	D <sub>3</sub>	T <sub>1</sub>	T <sub>2</sub>	T <sub>3</sub>	H	B	L		b	h <sub>1</sub>	h <sub>2</sub>		
RCD-D 250	340	250	342	324	418	45	70	84	404	200	2,000	310	400	584	150	0.600	0.108
RCD-D 300	400	300	391	371	472	50	69	86	455	240	2,000	368	440	635	150	0.660	0.146
RCD-D 350	458	350	445	425	532	54	72	91	513	280	2,000	454	480	693	150	0.720	0.189
RCD-D 400	516	400	503	483	596	58	74	98	572	320	2,500	688	520	752	150	0.780	0.238
RCD-D 450	574	450	561	540	660	62	96	105	651	360	2,500	856	560	831	150	0.840	0.300
RCD-D 500	630	500	623	602	728	65	101	114	715	400	2,500	1010	600	895	150	0.900	0.363
RCD-D 600	742	600	733	712	850	71	110	125	835	450	2,500	1299	650	1,015	150	0.980	0.496
RCD-D 700	854	700	846	818	972	77	119	136	955	500	2,500	1624	700	1,135	150	1.050	0.651
RCD-D 800	966	800	962	933	1,098	83	129	149	1,078	550	2,500	1994	750	1,258	150	1.130	0.829
RCD-D 900	1,078	900	1,080	1,046	1,226	89	138	163	1,201	600	2,500	2410	800	1,381	150	1.200	1.029
RCD-D 1000	1,190	1,000	1,196	1,162	1,352	95	147	176	1,323	650	2,500	2853	850	1,553	200	1.700	1.249
RCD-D 1100	1,302	1,100	1,308	1,274	1,474	101	157	187	1,444	700	2,500	3320	900	1,674	200	1.800	1.489
RCD-D 1200	1,414	1,200	1,423	1,386	1,599	107	166	200	1,566	760	2,500	3855	960	1,796	200	1.920	1.755

注意事項

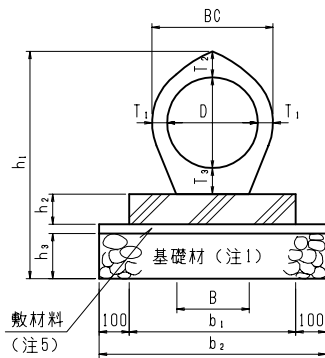
1. 基礎材の使用材料を該当する個所に明記すること。  
基礎材に粗粒材を用いる場合、最大粒径は80mm級以下とする。
2. 管渠断面を決定する場合は断面に余裕を見込むこと。
3. 継手形式は別途考慮すること。

鉄筋コンクリート台付管標準図



共 通	図面記号	管渠 - ベース板付鉄筋コンクリート台付管
	名 称	

基礎形式標準図



管寸法表

記 号	BC	D	D <sub>1</sub>	D <sub>2</sub>	D <sub>3</sub>	T <sub>1</sub>	T <sub>2</sub>	T <sub>3</sub>	H	B	L	標準質量 (kg)
RCD - D 250	340	250	342	324	418	45	70	84	404	200	2,000	310
RCD - D 300	400	300	391	371	472	50	69	86	455	240	2,000	368
RCD - D 350	458	350	445	425	532	54	72	91	513	280	2,000	454
RCD - D 400	516	400	503	483	596	58	74	98	572	320	2,500	688
RCD - D 450	574	450	561	540	660	62	96	105	651	360	2,500	856
RCD - D 500	630	500	623	602	728	65	101	114	715	400	2,500	1010
RCD - D 600	742	600	733	712	850	71	110	125	835	450	2,500	1299
RCD - D 700	854	700	846	818	972	77	119	136	955	500	2,500	1624
RCD - D 800	966	800	962	933	1,098	83	129	149	1,078	550	2,500	1994
RCD - D 900	1,078	900	1,080	1,046	1,226	89	138	163	1,201	600	2,500	2410
RCD - D 1000	1,190	1,000	1,196	1,162	1,352	95	147	176	1,323	650	2,500	2853
RCD - D 1100	1,302	1,100	1,308	1,274	1,474	101	157	187	1,444	700	2,500	3320
RCD - D 1200	1,414	1,200	1,423	1,386	1,599	107	166	200	1,566	760	2,500	3855

基礎寸法および材料表

記 号	D	場所打ちコンクリートベース (設計基準強度 基礎コンクリート ck=18N/mm <sup>2</sup> )								プレキャストコンクリートベース							
		寸法表 (単位 mm)					材 料 表 (10m当たり)			寸法表 (単位 mm)			材 料 表 (10m当たり)				
		b <sub>1</sub>	b <sub>2</sub>	h <sub>1</sub>	h <sub>2</sub>	h <sub>3</sub>	コンクリート量	基礎材量	型枠量	コンクリート管本数	b <sub>1</sub>	b <sub>2</sub>	h <sub>1</sub>	h <sub>2</sub>	h <sub>3</sub>	基礎材量	コンクリート管本数
RCD - D 250	250	300	500	654	100	150	0.30	0.75	2.00	5.0	300	500	684	100	150	0.75	5.0
RCD - D 300	300	350	550	705	100	150	0.35	0.83	2.00	5.0	340	540	735	100	150	0.81	5.0
RCD - D 350	350	400	600	763	100	150	0.40	0.90	2.00	5.0	380	580	793	100	150	0.87	5.0
RCD - D 400	400	450	650	872	150	150	0.68	0.98	3.00	4.0	420	620	852	100	150	0.93	4.0
RCD - D 450	450	500	700	951	150	150	0.75	1.05	3.00	4.0	460	660	931	100	150	0.99	4.0
RCD - D 500	500	500	700	1,015	150	150	0.75	1.05	3.00	4.0	500	700	995	100	150	1.05	4.0
RCD - D 600	600	550	750	1,135	150	150	0.83	1.13	3.00	4.0	550	750	1,115	100	150	1.13	4.0
RCD - D 700	700	600	800	1,305	200	150	1.20	1.20	4.00	4.0	600	800	1,285	150	150	1.20	4.0
RCD - D 800	800	650	850	1,428	200	150	1.30	1.28	4.00	4.0	650	850	1,408	150	150	1.28	4.0
RCD - D 900	900	700	900	1,551	200	150	1.40	1.35	4.00	4.0	700	900	1,531	150	150	1.35	4.0
RCD - D 1000	1,000	750	950	1,723	200	200	1.50	1.90	4.00	4.0	750	950	1,703	150	200	1.90	4.0
RCD - D 1100	1,100	800	1,000	1,894	250	200	2.00	2.00	5.00	4.0	800	1,000	1,824	150	200	2.00	4.0
RCD - D 1200	1,200	900	1,100	2,016	250	200	2.25	2.20	5.00	4.0	860	1,060	1,946	150	200	2.12	4.0

注意事項

1. 基礎材の使用材料を該当する個所に明記すること。  
基礎材に粗粒材を用いる場合、最大粒径は80mm級以下とする。
2. 管渠断面を決定する場合は断面に余裕を見込むこと。
3. 型枠面積は、基礎コンクリートの両側のみ計上した。
4. 継手形式は別途考慮すること。
5. 場所打コンクリートベースの場合は、敷材料を計上しない。